様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
設置者名	学校法人 滋慶コミュニケーションアート

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	スーパーeエンターテイメント科（昼間II部）	夜・通信	1920時間	320時間	
	音楽テクノロジー科（昼間I部）	夜・通信	1440時間	240時間	
	音楽テクノロジー科(昼間 II部)	夜・通信	1440時間	240時間	
	商業音楽科（昼間I部）	夜・通信	660時間	160時間	
	商業音楽科（昼間II部）	夜・通信	660時間	160時間	
	プロミュージシャン科（昼間 I部）	夜・通信	630時間	160時間	
	ダンス＆アクターズ科（昼間 I部）	夜・通信	750時間	160時間	
	ダンス＆アクターズ科（昼間 II部）	夜・通信	750時間	160時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
設置者名	学校法人 滋慶コミュニケーションアート

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社　取締役会長	2023.4.1 ～ 2026.3.31	地域との連携
非常勤	株式会社　代表取締役	2023.4.1 ～ 2026.3.31	経営分析
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
設置者名	学校法人 滋慶コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。

授業計画書の公表方法	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 定期試験（実技、筆記、レポート等）の成績により学修成果の評価を行ない単位認定している。評価は「S～F」で行ない、C 以上を合格とします。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位４分の １の学生を割り出している。 点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0） 点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0） 点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0） 点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0） 点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0） ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
設置者名	学校法人 滋慶コミュニケーションアート

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/
収支計算書又は損益計算書	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/
財産目録	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/
事業報告書	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/
監事による監査報告（書）	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	スーパーe エンターテイメント科（昼間 II 部）		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3600 単位時間／単位	240 単位時間	3360 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	37 人	0 人	7 人	53 人	60 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位４分の 1 の学生を割り出している。 点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0） 点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0） 点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0） 点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0） 点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0） ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）

卒業・進級の認定基準
（概要） 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。
学修支援等
（概要） 担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、 AZ-900: Microsoft Azure Fundamentals 検定			
（備考）（任意記載事項） スーパーe エンターテイメント科は 2021 年 4 月新設学科のため卒業生はおりません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度三者面談　SSC（スチューデントサービスセンター）個人面談学費相談（分納・延納納入）補習課題提出など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門課程</td><td colspan="2">音楽テクノロジー科
（昼間Ｉ部）</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700
単位時間／単位</td><td>180
単位時間</td><td>3000
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人	57 人	0 人	7 人	53 人	60 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。

成績評価の基準・方法

（概要）
評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。
点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0）
点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0）
点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0）
点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0）
点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0）

ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）

卒業・進級の認定基準

（概要）
全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。

学修支援等

（概要）
担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 （100%）	0 人 （　　0%）	7 人 （　　54%）	6 人 （　　46%）
（主な就職、業界等） レコーディングスタジオ/映像制作会社/音楽プロダクション等			
（就職指導内容） ２年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。２年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、サウンドレコーディング技術認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	3 人	4.9%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、病気治療、学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度三者面談　SSC（スチューデントサービスセンター）個人面談学費相談（分納・延納納入）補習課題提出など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門課程</td><td colspan="2">音楽テクノロジー科
（昼間 II 部）</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700
単位時間／単位</td><td>180
単位時間</td><td>3000
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人	58 人	0 人	7 人	53 人	60 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。

成績評価の基準・方法

（概要）
評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。
点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0）
点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0）
点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0）
点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0）
点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0）

ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）

卒業・進級の認定基準

（概要）
全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。

学修支援等

（概要）
担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） ２年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。２年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、サウンドレコーディング技術認定試験			
（備考）（任意記載事項） 音楽テクノロジー科（昼間 II 部）は、2022 年 4 月新設学科のため卒業生はおりません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	3 人	14.2%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、病気治療、学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度三者面談　SSC（スチューデントサービスセンター）個人面談学費相談（分納・延納納入）補習課題提出など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門課程</td><td colspan="2">商業音楽科(昼間Ｉ部)</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1800
単位時間／単位</td><td>120
単位時間</td><td>2080
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	42 人	0 人	7 人	53 人	60 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。

成績評価の基準・方法

（概要）
評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位４分の 1 の学生を割り出している。
点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0）
点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0）
点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0）
点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0）
点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0）

ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）

卒業・進級の認定基準

（概要）
全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。

学修支援等

（概要）
担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 （100%）	0 人 （　　0%）	36 人 （　　100%）	0 人 （　　0%）
（主な就職、業界等） 音響会社/照明会社/舞台制作会社/映像制作会社/イベント制作会社/芸能プロダクション等			
（就職指導内容） 1 年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。1 年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、舞台機構調整技能士、足場組立等の業務に係る特別教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64 人	2 人	3.1%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、病気治療、学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度三者面談　SSC（スチューデントサービスセンター）個人面談学費相談（分納・延納納入）補習課題提出など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門課程</td><td colspan="2">商業音楽科(昼間 II 部)</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1800
単位時間／単位</td><td>120
単位時間</td><td>2080
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	97 人	0 人	7 人	53 人	60 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。

成績評価の基準・方法

（概要）
評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。
点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0）
点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0）
点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0）
点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0）
点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0）

ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）

卒業・進級の認定基準

（概要）
全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。

学修支援等

（概要）
担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
69 人 （100%）	0 人 （　　0%）	69 人 （　　100%）	0 人 （　　0%）
（主な就職、業界等） 音響会社/照明会社/舞台制作会社/映像制作会社/イベント制作会社/芸能プロダクション等			
（就職指導内容） 1 年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。1 年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、舞台機構調整技能士、足場組立等の業務に係る特別教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
125 人	8 人	6.0%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、病気治療、学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度三者面談　SSC（スチューデントサービスセンター）個人面談学費相談（分納・延納納入）補習課題提出など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門課程</td><td colspan="2">プロミュージシャン科（昼間Ｉ部）</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1800
単位時間／単位</td><td>120
単位時間</td><td>2080
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	63 人	0 人	7 人	53 人	60 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。

成績評価の基準・方法

（概要）
評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位４分の 1 の学生を割り出している。
点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0）
点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0）
点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0）
点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0）
点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0）

ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）

卒業・進級の認定基準

（概要）
全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。

学修支援等

（概要）
担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
44 人 （100%）	0 人 （　　0%）	3 人 （　　7%）	41 人 （　　93%）
（主な就職、業界等） 音楽プロダクション/楽器販売店/音楽教室/プロミュージシャン等			
（就職指導内容） 1 年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。1 年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94 人	4 人	4.2%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、病気治療、学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度三者面談　SSC（スチューデントサービスセンター）個人面談学費相談（分納・延納納入）補習課題提出など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門課程</td><td colspan="2">ダンス&アクターズ科
（昼間Ｉ部）</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1800
単位時間／単位</td><td>120
単位時間</td><td>2080
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	56 人	0 人	7 人	53 人	60 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。

成績評価の基準・方法

（概要）
評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位４分の 1 の学生を割り出している。
点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0）
点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0）
点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0）
点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0）
点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0）

ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）

卒業・進級の認定基準

（概要）
全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。

学修支援等

（概要）
担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30 人 （100%）	0 人 （　　0%）	0 人 （　　100%）	30 人 （　　100%）
（主な就職、業界等） 芸能プロダクション/テーマパーク/ダンススクール			
（就職指導内容） 1 年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会及び新人発掘プレゼンテーションを開催。1 年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、 一般社団法人ストリートダンス協会認定 ストリートダンス検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65 人	3 人	4.6%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、病気治療、学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度三者面談 SSC（スチューデントサービスセンター）個人面談学費相談（分納・延納納入）補習課題提出など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門課程</td><td colspan="2">ダンス&アクターズ科
（昼間Ⅱ部）</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1800
単位時間／単位</td><td>120
単位時間</td><td>2080
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	26 人	0 人	7 人	53 人	60 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。

成績評価の基準・方法

（概要）
評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。
点数 100～90 点＝S 評価（GP=4.0）
点数 89～80 点＝A 評価（GP=3.0）
点数 79～70 点＝B 評価（GP=2.0）
点数 69～60 点＝C 評価（GP=1.0）
点数 59 点以下＝F 評価（GP=0.0）

ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）

卒業・進級の認定基準

（概要）
全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。

学修支援等

（概要）
担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37 人 （100%）	0 人 （　　0%）	5 人 （　　14%）	32 人 （　　86%）
（主な就職、業界等） 芸能プロダクション/テーマパーク/ダンススクール			
（就職指導内容） 1 年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会及び新人発掘プレゼンテーションを開催。1 年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、 一般社団法人ストリートダンス協会認定 ストリートダンス検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58 人	2 人	3.4%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、病気治療、学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度三者面談 SSC（スチューデントサービスセンター）個人面談学費相談（分納・延納納入）補習課題提出など		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
スーパーeエンターテイメント科（昼間II部）	100,000円	740,000円	758,300円	
音楽テクノロジー科(昼間I部)	100,000円	740,000円	758,300円	
音楽テクノロジー科(昼間II部)	100,000円	740,000円	758,300円	
商業音楽科　（昼間I部）	100,000円	740,000円	758,300円	
商業音楽科　（昼間II部）	100,000円	740,000円	758,300円	
プロミュージシャン科（昼間I部）	100,000円	740,000円	758,300円	
ダンス&アクターズ科（昼間I部）	100,000円	740,000円	758,300円	
ダンス&アクターズ科（昼間Ⅱ部）	100,000円	740,000円	758,300円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.nsm.ac.jp/school/public_info		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
卒業生代表、高等学校関係者とともに、業界関係者により構 成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行なった自己点検、自己評価の 内容を通し、学校運営の改善に活かすことを方針としている。 評価項目としては下記とする ・教育理念、目的、育成人材像について・学校運営について・教育活動について ・教育成果について・学生支援について・教育環境について ・学生募集と受け入れについて・財務について・法令等の遵守について ・社会貢献について		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社　アズオン	令和４年４月１日～令和６年３月31日	卒業生代表
株式会社　ハートランドスタジオ	令和４年４月１日～令和６年３月31日	企業等委員
愛知県立三好高等学校	令和４年４月１日～令和６年３月31日	高等学校
学校関係者評価結果の公表方法		

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.nsm.ac.jp/school/public_info
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.nsm.ac.jp

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H123310000650
学校名	名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校
設置者名	学校法人　滋慶コミュニケーションアート

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		64人	64人	128人
内訳	第Ⅰ区分	40人	39人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				128人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人		
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	－		
「警告」の区分に連続して該当	－		
計	－		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	－		
ＧＰＡ等が下位４分の１	－		
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	－		
計	－		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。